

大田の魅力 再発見 馬込ウォーカー

Magome



新馬込橋
2014年6月の全面修復に合わせ、大田区ゆかりの版画家・川瀬巴水(はすい)の「馬込の月」をはじめ12作品の複製美術陶板が飾られた。

再発見memo
郷土博物館
大田区を中心とした考古・歴史・民俗資料等の文化遺産を保管・展示している。
9時～17時／月曜・年末年始休館／無料

オススメ散策道

- 北コース 2.4km 60分
- 南コース 3.1km 90分
- 白秋の小径

■ 文士の解説板 ■ バス停
● 史跡・旧跡 ■ 公共施設 桜



大田観光協会刊
(2020年10月)

再発見memo

白秋の小径

昭和初期、馬込に住んだ北原白秋が自著「きよろ鶯」に記した自宅近辺の景観を参考にした坂の多い行程3キロ散策ルート。

再発見memo

山王草堂記念館

日本初の総合雑誌、「国民の友」を創刊し明治・大正・昭和にわたってオピニオンリーダーとして活躍した徳富蘇峰の旧居を一部保存し蔵書、書簡を展示。玄関脇には、新島襄がアメリカから種子を持ち帰ったカタルバが毎年5月末頃に咲く。
9時～16時30分／年末年始休館／無料

再発見memo

尾崎士郎記念館

馬込文士村の中心人物として活躍した尾崎士郎が10年間暮らした旧居の客間、書斎、書庫、庭園を改修、復元し2008年に開館。
9時～16時30分／年末年始休館／無料

大森貝塚遺跡庭園
WC
大森操車場
WC
大井町駅
WC

再発見memo

熊谷恒子記念館

現代女流かな書の第一人者として活躍した熊谷恒子の旧居を改修し、所蔵作品を順次公開している。
9時～16時30分／月曜・年末年始休館／100円

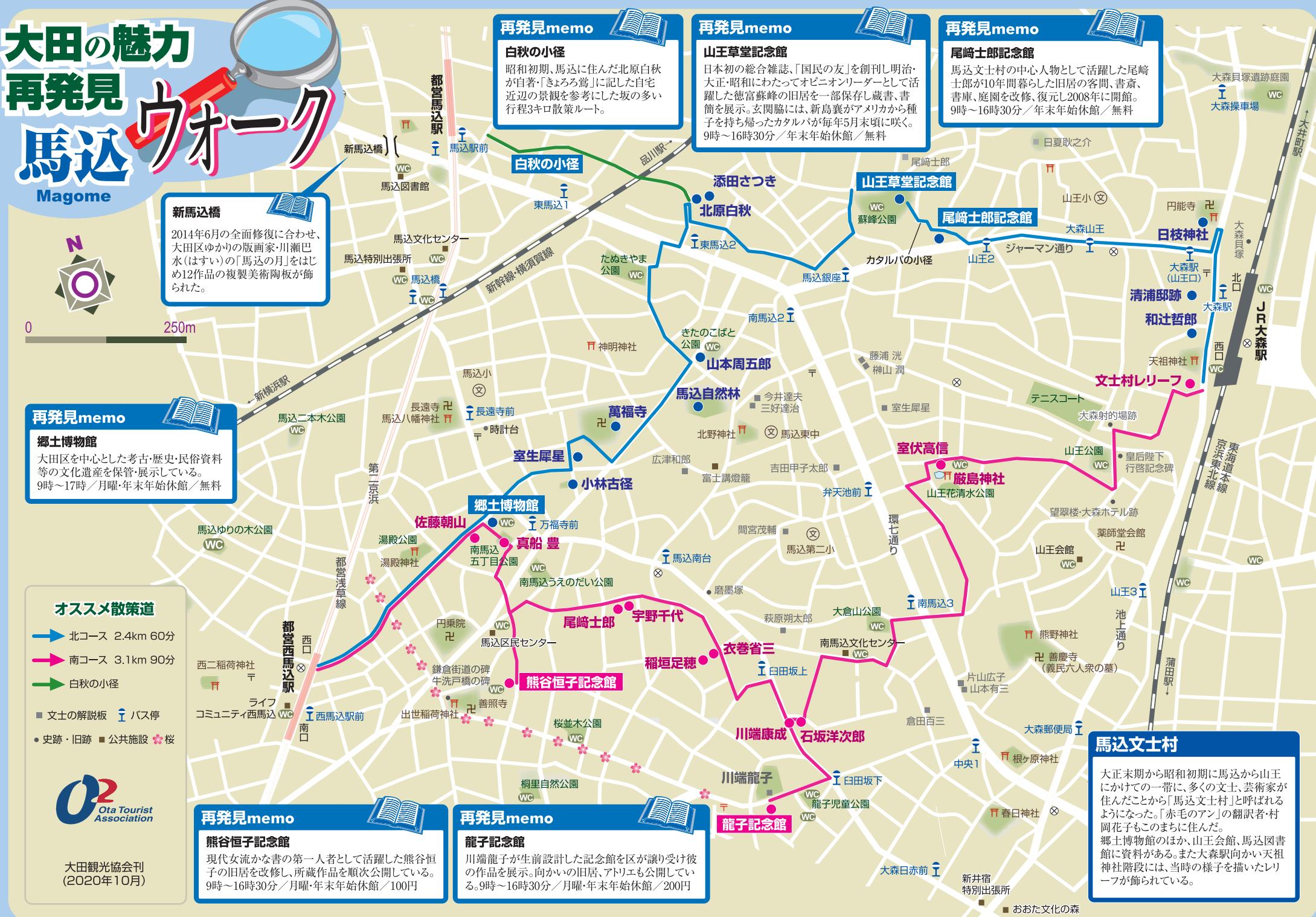
再発見memo

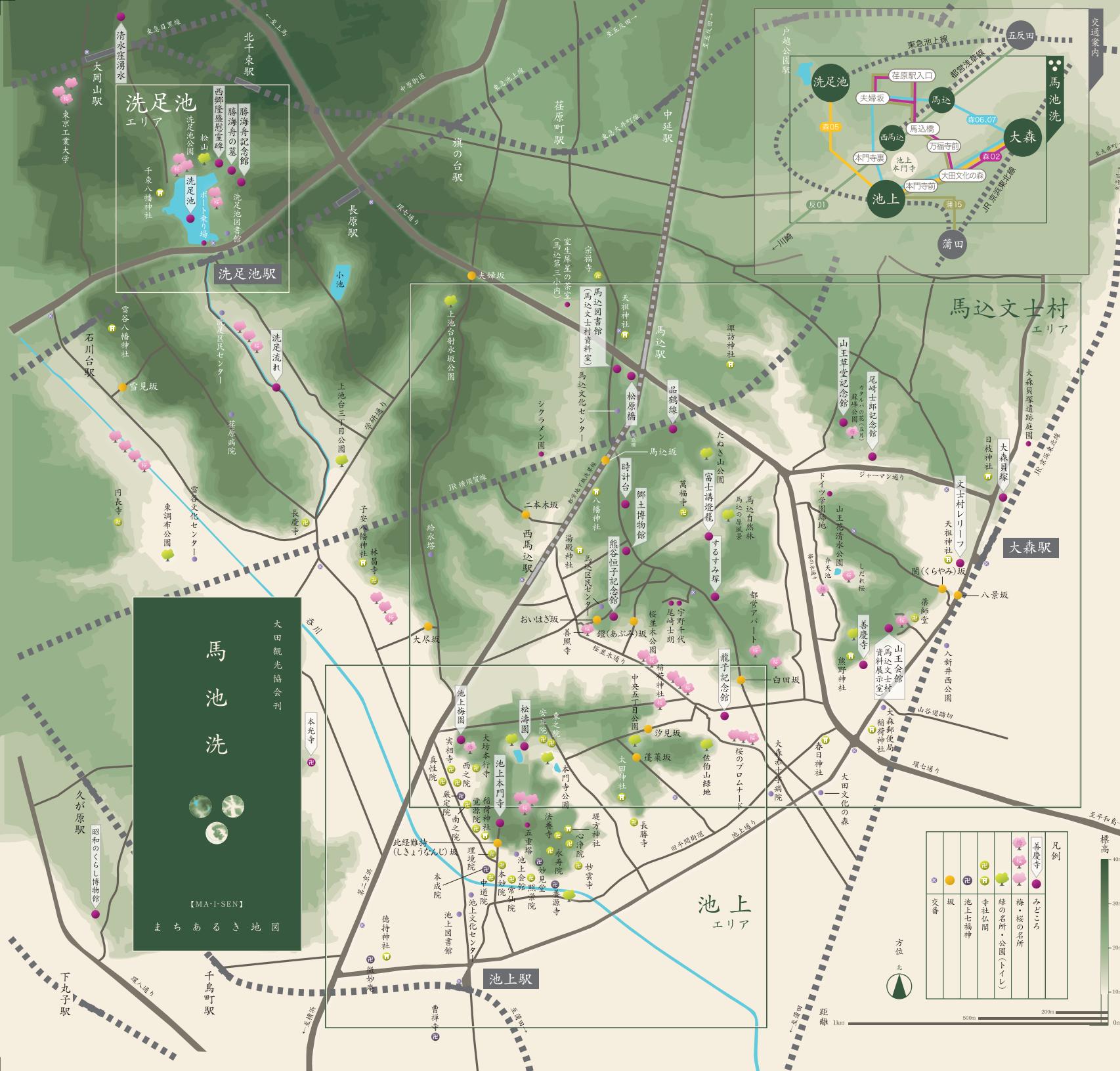
龍子記念館

川端龍子が生前設計した記念館を引き譲り受け彼の作品を展示。向かいの旧居、アトリエも公開している。
9時～16時30分／月曜・年末年始休館／200円

馬込文士村

大正末期から昭和初期に馬込から山王にかけての一帯に、多くの文士、芸術家が住んだことから「馬込文士村」と呼ばれるようになった。「赤毛のアン」の翻訳者・村岡花子もこのまちに住んだ。
郷土博物館のほか、山王会館、馬込図書館に資料がある。また大森駅向かい天祖神社階段には、当時の様子を描いたレリーフが飾られている。





馬池洗《まいせん》 まちあるき地図

古くから景勝地として人々に親しまれできた、洗足池地域の頭文字をとてこの工リアを「馬込」。
（まいせん）。
大田地区の中央部を占めるこの地域は、いまでも、緑、水、花、史跡など多くの観光資源に恵まれ、またあるきに格好の地です。

大岡線の急行旗が谷大島上、池の流れも大田区の地形に沿つていて、東京湾に注がれているのが見えます。

この辺りの地形は複雑で、多摩川や東標京湾に近い海拔数メートル地帯から、とど高が40メートル近くもある上池台までとど高低差があり、マップではそれを緑の線の濃淡で表しています。かつて太田道灌もこの起伏にとんだ地形を利用しない手はない、と、十九谷とよばれるほど入り組んでいる馬込を江戸城築城の候補にあげたといわれるほどです。

に塚や見どつて居る場のこれきてど思な
端貝谷や見どつて居る場のこれきてど思な
寺社は台した。坂のかなよう地図しまえりれば足をぞれ楽ま
の森はく沙上緒なはれアとで足をぞれ樂ま
地大道路多く来上がるには地図しまえりれば足をぞれ楽ま
寺祥にあります。前浮んよう地図しまえりれば足をぞれ樂ま
の觀にあります。前浮んよう地図しまえりれば足をぞれ樂ま
本門寺吉などは地図しまえりれば足をぞれ樂ま
考昔は海沿邊られており、その根がもそむきてし1も寺村まで
も太古の沿ってなど、當時の文士達も池邊にあつてし1も寺村まで
尾根や坂らへ歴史、當時の文士達も池邊にあつてし1も寺村まで
坂らへ歴史、當時の文士達も池邊にあつてし1も寺村まで
所を好んで馬込池光ス足洗いして、池は馬いろ溢蓄(うんちく)を池田さ
でしよう。「馬の觀光ス足洗いして、池は馬いろ溢蓄(うんちく)を池田さ
まで3つ馬込・池上・洗い成しました。馬込池邊にあつてし1も寺村まで
として、来て・見て・馬の觀光ス足洗いして、池は馬いろ溢蓄(うんちく)を池田さ
いい作成しました。馬の觀光ス足洗いして、池は馬いろ溢蓄(うんちく)を池田さ
く、洗い足池あるいは馬の觀光ス足洗いして、池は馬いろ溢蓄(うんちく)を池田さ
伸ばしてみれば、語られることで手に、それぞれの「馬の觀光ス足洗いして、池は馬いろ溢蓄(うんちく)を池田さ
れの歴史に語られることで手に、それぞれの「馬の觀光ス足洗いして、池は馬いろ溢蓄(うんちく)を池田さ
しんでもらえる地図」を見」